

機巢

同窓会報メールマガジン

Vol. 9 春号

岐阜工業高等専門学校 機械工学科 機巢会

目 次

P-2	目次 & 会長挨拶	中野 廣幸 (4期生)
P-3	機械工学科の現状について	機械工学科 山田 実
P-4	クラブ紹介 宇宙工学研究会	機械工学科 中谷 淳
P-5	機巢会役員会からの報告	事務局 石丸 和博
P-6	12期生 加藤一憲さんを偲ぶ	中尾 賢治 (15期生)
P-7	さえの会 金澤皐月	
P-8	兄の旅立ちと故郷 加藤正裕	
P-9～P-13	若鮎会 50年の歴史 年表	
	【若鮎会が50周年記念に作成した年表です。学校に寄贈されました。】	
P-14	編集後記	

会長挨拶

中野 廣幸

新緑の美しい季節となりました。機巢会も新年度を向かえ2年事業計画の半分を過ぎました。昨年度は、若鮎会50周年行事に同期して、各クラス同窓会が多数開催される等、機巢会の組織も増々強固になって参りました。機巢会の活動を予算面から見ると、昨年度は若鮎会50周年行事による出費大が懸念されましたが、ほぼトータル金額として事業計画予算どおりに決算できました。しかし個々の費用の使い道、活動を見ると、岐阜高専の現役の学生に対する支援が不十分であったことが反省されます。本年は、例えば学生の海外留学支援の基準を明確にする等、学生が機巢会からの支援を使い易く“見える化”する必要がありますと考えます。また、現在は役員を中心に活動計画、予算が決定され運営されていますが、みなさんから集めた会費を有効に活用し、今後の機巢会活動を活発にするために、来年度は機巢会総会を開催し、機巢会会員の総意のもとに会の活動を運営して参りたいと考えます。



さて、機巢会の活動は何のためにあるのか、目的は何なのかを、改めて考えてみたいと思います。同窓会活動といえば、一般的に過去の思い出話で盛り上がる。現在の変化を語り合う場所と考えられがちです。もちろんそのような楽しい一面もあっていいと思いますが、過去と現在だけに目を向けるだけでなく、機巢会は未来に目を向ける場所であると思います。先輩、後輩の間で知恵を共有し、互いに未来を作っていく場所なのです。

私は以前、会社の中で品質保証の仕事をしておりました。品質保証の仕事の中で最も大切な財産は、過去の失敗です。過去の失敗の経験の中から、いかに未来のリスクを予測し、それを如何に避けるかが、品質保証として重要となります。成功体験は決して今後の事業運営に役に立つものではないということを実務において実感いたしました。自慢話よりも失敗談が大きな財産になります。これは人生においても同じです。機巢会の会員諸氏は卒業以来、多種多様な人生を歩まれて、その中で痛恨の出来事がいくつもあると思います。

私自身も失敗談にはことかかず、できれば、現役の高専生にそんな失敗談を話してやりたいと思っています。昨年度から始まりました若鮎会50周年の継続事業である公開講座の目的の一つに、こんなこともあるのではないかと考えます。先輩、後輩の間で知恵を共有し、互いに未来を作っていくとはこのようなことではないのでしょうか。機巢会の皆様の今後のご支援をお願いいたします。

機械工学科の現状について

機械工学科 山田実

今年の春は暖かく、中庭の枝垂れ桜の花も入学式の前には散ってしまいました。

【卒業状況】

平成29年度の卒業生は37名でした。その内、就職が19名、進学が18名でした。

平成29年度進路状況

就職先	サントリープロダクツ、旭化成、メニコン、日本特殊陶業、LIXIL、ダイキン工業、浜松ホトニクス、セイコーエプソン、VAIO、オムロンオートモーティブエレクトロニクス、SUBARU、東レ・カーボンマジック、豊田合成、ナブテスコ岐阜工場、中部電力、東海旅客鉄道、日本貨物鉄道、三菱エンジニアリング(求人件数680件)
進学先	専攻科6名、舞鶴高専専攻科1名、岐阜大学9名、名古屋大学1名、豊橋技術科学大学1名

【入学状況】

平成30年度機械工学科には42名(うち女子1名)が入学しました。推薦入学者は12名でした。学力志願者は58名で、そのうち30名が学力合格しました。したがって学力試験のみの倍率は1.93倍とほぼ昨年並みでした。40名定員に対する倍率は1.75倍です。学校全体では2.04倍と前年度より増えました。

平成29年3月に28年間技術専門職員として主に機械工学科の実験や実習でお世話になりました高橋克彦様が定年退職されました。そこであらたに技術職員として青山哲明様が採用されましたのでご紹介します。

【新任職員からのご挨拶】

平成30年4月から岐阜高専機械工学科の技術職員に採用された青山です。私自身、平成25年度に機械工学科を卒業したOBであり、在学している中で多くのことを学ぶことができました。この経験を活かし、学生にとって学校生活がより良いものになるような手助けや、学校を出た後の将来に役立つことを教えることができれば良いと思っています。

技術職員としての主な仕事内容は、1年生のものづくり入門の授業におけるエンジンの分解・組立のジョブや、3年生の実験の講師を担当しています。また、他の授業の支援であったり、インターンシップ関連の事務作業も行っています。

私の趣味は車・バイクです。休日の天気の良い日には東海近辺をドライブしたり、ミニサーキットに出向いてタイムアタック走行などを行っています。また、旅行に出かけるのも大好きで、長期連休には必ずと言っていいほど県外へ泊がけで出かけます。好きな車で知らない土地を走るのはとても新鮮なので、心や頭のリフレッシュになるばかりでなく、多くの新しい経験であったり出会いがあるのでどれだけ行っても飽きません。当面の目標は愛車で全国を走り回ることです。現在47都道府県中38都府県は制覇しているので20代のうちに制覇したいです！



実習の指導をする青山哲明様

クラブ紹介 宇宙工学研究会

機械工学科 中谷 淳

今回、宇宙工学研究会（Space Engineering Research Association, SERA）の記事を執筆する機会を頂きましたので、顧問を勤めます小職より紹介させていただきます。SERAは2016年11月からの試行期間を経て2018年4月に正式な同好会として発足しました（小職にとってはまさに10年越しの悲願が叶った訳であります）。

SERAの活動方針は、人類に残された最後のフロンティアである宇宙を切り拓くために必要な学問である宇宙工学（理学も含む）に興味ある学生が集い、宇宙工学系の教育イベント、競技会等に向けた活動に参加することで技術者に必要な専門力と人間力を育成することです（顧問の淡い期待として将来的に航空宇宙系の道を志す学生が多く出てくれば・・・、とも考えております）。

具体的な活動として、①人工衛星に関する取り組み、および②ロケットに関する取り組みを進めております。人工衛星に関する取り組みとしては、衛星設計コンテスト、種子島ロケットコンテスト（CanSat部門）、缶サット甲子園への参加、ロケットに関する取り組みとしては、種子島ロケットコンテスト（ロケット部門）への参加を目指して学生諸君が日々、知識と技能を磨いております。なお、第13回種子島ロケットコンテストのロケット部門、滞空・定点回収競技においては初出場ながら初優勝の快挙を成し遂げました。今後も学生諸君の活躍を期待しているところです。

また、全国高専レベルで見ると小職を含め宇宙理工学の専門家が各地に点在しています。現在、そういった教員の有機的な協力の下で高専スペース連携が組織され、高専スペースアカデミア、高専スペースキャンプといった宇宙人材育成が実施されています。本同好会の学生もこの活動に参加して、宇宙に関する知識と技能を学んだり、各高専の宇宙分野に興味ある学生との交流を深めているところでもあります。本連携では、数年後を目標に国立高専連携による超小型衛星の打ち上げを目指しております。

卒業生の方々には是非ともこんな同好会が出来たということを知って頂けると幸いです。



平成30年度メンバー集合写真

宇宙工学研究会 Twitter https://mobile.twitter.com/GNCT_cansatkar_i

小職 HP <http://www.gifu-nct.ac.jp/mecha/nakaya/index.html>

機巢会役員会報告

事務局 石丸 和 博

平成 29 年度の締めくくりとして機巢会役員会を開催しましたので、主な内容を報告します。

日時：平成 30 年 4 月 22 日（日）19:00～20:00

出席者（敬称略）：

会長 中野、副会長 白木、理事 井坂、理事 三口、理事・編集委員 中尾、
理事 長谷川、理事・編集委員 太田、会計監査・事務局 石丸、事務局長 山本、編集委員 犬飼、編集委員 山田

＜議事内容＞

1. 平成 29 年度事業報告及び収支報告について

平成 29 年度の事業報告及び収支報告が行われ、承認されました。

支出総額は 801,126 円で、

主な支出として、 資格試験補助（275,000 円）、
機巢会システム関連（ホームページ・メルマガ）（136,080 円）、
同窓会補助（312,000 円）などがありました。

2. 平成 30 年度事業計画及び予算について

平成 29 年度当初に立てた 2 か年事業計画について、修正事項はなく承認されました。

予算は 1,640,000 円とし、在学生への支援としては留学支援（400,000 円）、
高専祭助成（100,000 円）、資格試験補助（320,000 円）、OB へは同窓会補助（200,000 円）
機関誌などの整備（300,000 円）、などを推進していきます。

なお、検討事項として以下の 2 点が挙がりました。

- ① 学生支援の項目に関し、支援する基準を明確にして学生が利用しやすくする。
→会長および事務局で原案を作成し、役員会で決定する。
- ② 高専祭助成の項目は高専祭のみに限らず、他の活動についても助成する。
→現在上がっているロボコン参加についての助成も可とする。

3. 若鮎会 50 周年継続事業についての協力

若鮎会から若鮎会ホームページ委員と公開講座委員の選出を要請されており、機巢会メンバーから公募することとなりました。近々、会長名で機巢会メンバーにメールにて公募します。

4. 機巢会活動充実に向けて

機巢会役員の若返りのため、活動の中心となる人材を確保していくことを進めます。

また、平成 31 年度は機巢会総会（平成 31 年 5 月頃）を行い、機巢会活動の報告、事業計画を機巢会メンバー全員で共有していきます。

以上

機関誌「機巢」は年に 4 回（春、夏、秋、冬）の発行を目標としています。
掲載する原稿を募集しています。また情報を提供してくれる特派員のような人を探しています。連絡してください。お待ちしております。

12 期生 加藤一憲さんを偲ぶ

15 期生 中尾賢治



機械工学科の先輩であり、そして豊橋技科大では同級生としてお世話になった加藤一憲さんが、平成30年2月7日永眠されました。昨年の秋、「高専祭に行きましょう。」と電話でお話しをしていただいただけに、突然の訃報には驚き以上の衝撃が走りました。

加藤さんとは昭和53年頃の機械工学科の影の主であった大森文裕さん（11期生、現在機械ブローカ）との縁で知り合いました。加藤さんは岐阜高専を卒業してカヤバ工業系の会社に3年間勤務した後、豊橋技科大3年次に編入されましたので15期生の私とは大学では同級生となりました。大学の寮でいろいろとお話を伺っていると、高専時代、加藤さんは美術部、私は新聞部で活動しており、その両方で指導役だった大森さんに二人ともお世話になっていたこともあり、我々はある意味で趣向や考え方も同じところが多く、時々お酒を飲みに誘っていただいたり、ご自宅にも泊めていただいたりしました。

趣向が似ているということでは、豊橋技科大時代に思い出深い話があります。豊橋技科大の寮の掲示板には、学校からの連絡のほか、アルバイト募集の張り紙もありました。4年生の夏休みだったか、トピー工業という自動車の鉄ホイールを作っている会社の豊橋工場で、アルバイトを1日1万円で募集していました。このアルバイトは鉄の酸化物の粉がどろどろになった「スラグ」という汚泥のようなものを、鉄板圧延ラインの下にもぐってスコップでドラム缶に入れる内容でした。昼飯や風呂もついているし、いい経験にもなるなと思って応募して現地へ行くと、何と加藤さんにバッタリ遭遇したのです。そして2人で、「こんな炭鉱夫のようなバイトは俺たちじゃないと来ないだろうな。」と話しをしながらススで真っ黒になって一緒に仕事したことが思い出されます。

豊橋技科大卒業後は、故永井直記先生の御紹介もあり日精工業（株）（現（株）ニッセイ）に入社されましたが、会社員生活の傍ら茶人（茶道表千家指南：加藤見珠）としての側面がありました。フェイスブックでは職業として茶道指南となっていたほどです。別の流派で茶道を習っていた私も、名古屋のお寺（徳林寺）での茶会のお手伝いを何度かさせていただきましたし、岐阜近辺のいろいろな茶会と一緒に出かけました。また結婚のお祝いには、茶道で使う黄瀬戸茶碗を贈っていただいたことも思い出されます。最近では3年ほど前に一緒に高専祭に同行させていただいたのですが、これが加藤さんにお会いした最後になってしまいました。訃報をお聞きして、真面目な尊敬する先輩が早く逝かれたことが非常に残念でなりません。謹んでご冥福をお祈り致します。



今回、加藤さんの京都の茶道の社中「さえの会」（お茶の勉強会）のお弟子さんであられた金澤臯月さんと、浜松で「みやこだ自然学校」という里山を運営されていらっしゃる弟さんの加藤正裕さんに故人への想いを語っていただきましたので原文のままお伝えします。

京都に現存する最古の花街上七軒は北野天満宮の東側にあり、奥座敷とも呼ばれています。夕暮れ時には建ち並ぶお茶屋の提灯がほんのりと紅く色づき、独特の雰囲気映し出されます。

元お茶屋「長谷川」に加藤見珠先生が表千家師範として上洛されました。わたくしは弟子の一人として 2014 年の秋からお世話になり、点前を学びながら春夏秋冬同じ季節を駆け抜けました。

「夢」という禅語のお軸。華やかな金屏風や調度品の数々は芸舞妓さんがお座敷で賑わっていた当時のものをそのまま使わせていただきました。昔からの住人のように錯覚を起こすほど温かく「さえの会」メンバーは受け入れていただき、加藤先生にとりまして最高にお幸せな数年間を過ごされたのではと思います。「さえの会」とは茶遊一会(さゆういちえ)の略です。先生は茶道に関して哲学をお持ちでしたが、京都では遊び心を取り入れた茶会を目指しておられました。この方向性は何らかの形で受け継いで行きたいと考えております。

真剣なお稽古が終わった後はトランプ手品にお座敷遊び、盆踊りや歌舞練場の演奏会、平野神社の桜まつりお行列、道行く方々へ甘茶のご接待。お茶会後は寿司割烹「華庄」で打ち上げなど、子どものように遊びました。わたくしは先生や皆さんの楽しそうな様子を記録に残したいと思い、写真を撮り続けました。



京都「さえの会」

心に残る、忘れられないエピソードは本当にたくさんあります。そっと、宝箱に閉まっておきたい思い出がいっぱい。きっと先生も「それは内緒にしておいて」と、恥ずかしそうに微笑まれることでしょう。

ほんなら、一つだけ。盆踊りの夜のこと、わたくし、お月謝を払い忘れていたことに気づき、暗い夜道を無我夢中で走りました。

先生の三メートル程手前でスッテンコロリン。悲鳴を上げて転びました(笑)

「だいじょうぶ～!？」

直ぐに駆け寄って起こしてくださり、もう転ばないようにバス停までずっとわたくしの左手を握っていただきました。それはあまりにも自然で、大のおっさんとおばさんなのに、先生と弟子なのに、真夏の夜のいたずらのようでした。



こんなこと書くと変かもしれませんが……思い出すと何だか嬉しい。

諸々の事情から上七軒のお教室はお開きになり、2016 年には下鴨神社参道にある旧三井家下鴨別邸に「さえの会」が移りました。心機一転、加藤先生は新しいお道具も求められたばかりでした。秋口からお身体の痛みが始まり、12月には末期の肺がんと分かりました。

(どうしてもっと早く……)

氣遣って差し上げられる距離に居たわたくしは放置したことを悔やみ、キリストを裏切ったユダとなりました。しかし、復活したキリストを見たユダは開眼し、師の教えを伝道する熱心な信者となります。

ここに、加藤見珠先生、加藤一憲氏、寂照院梅雪憲道居士へ心より感謝の愛を捧げます。

ありがとうございました。

そして、加藤正裕氏、加藤恭子氏、ご親戚、ご友人の方々、長谷川小四郎氏、大本氏、徳林寺の高岡ご住職、お寺の方々へ、並々ならぬお世話になりましたこと、深く感謝の意を捧げます。

ありがとうございました。

12月17日、名古屋の兄から中部ろうさい病院に明日、検査入院すると連絡がありました。うろたえている様子があり、ただ事ではないと直感しました。浄化、抗菌作用のある杉、檜の枝を庭で採り、自分で漉いた和紙にくるんでブークにしました。元気になるよう、母から教えてもらった好物のぼた餅もつくりました。ブークとぼた餅を持って18日に見舞いに行きました。後から担当看護師の方から聞きましたが、兄はブークのことをお守りだと説明していたようです。この日以降、毎週、月曜日に見舞いに通いました。

2月4日日曜日の深夜、血圧が下がっているとのことで、病院から電話がありました。僕は明日、行く予定ですという、間に合わないかも知れないと言われ、そのまま浜松を出ました。病院に到着したのが5日の深夜2時頃。兄に話しかけたりするうちに、血圧が上がり、安定しました。

亡くなる前日、6日に兄が外の空気を吸いたいと言い、看護師の方がベッドのまま、5階から1階正面玄関まで、連れていってくれました。前日の雪のせいか、冬の澄んだ空から注ぐ眩しい陽の光を感じていました。願いを叶えてもらいましたが、寒くて早々に退散。

7日のお昼過ぎ頃から、少しずつ脈拍が落ち始め、呼吸も途切れ途切れになり、意識が薄くなっていき、呼びかけに応えなくなりました。14時47分、兄は静かに息を引き取りました。

葬儀は30年来の付き合いがあり、母の時もお世話になった天白区の徳林寺。兄と母はここでお茶会を開いていました。僕も初釜や花祭りの時に兄の立ててくれたお茶を頂いたことがあります。搬送は明るいうちにしたいと思い、16時30分に迎えに来て頂くよう依頼。徳林寺への搬送の際、病院の担当医はじめ、スタッフの方々に丁寧な見送りをして頂きました。



徳林寺に到着後、打ち合わせをして、お棺に入れるものを用意して欲しいとのことで、マンションへ戻り、四国八十八箇所を兄と母が回った時に、母が使っていた杖と石鎚山総本宮の御札を用意しました。リュウマチだった母に杖を届けてもらうよう、母の遺影も用意しました。8日の18時から通夜。16時頃に、兄が勤めていた「株式会社 ニッセイ」の社員の方二人がお見えになり、お手伝いを申し出てくれました。本当に助かりました。

9日は11時から葬儀。お茶を出して欲しいとの兄のメモがあり、9時過ぎにマンションに戻り、道具類を用意して、徳林寺へ戻りました。出棺後の徳林寺では、兄が開いていたお茶会に参加して頂いていた方たちがお茶を振る舞ってくれました。急なことだったにも関わらず、対応して頂き、兄の希望を叶えることができました。火

葬場から徳林寺に戻ったのが15時30分頃。初七日を終えて、葬儀は終わりました。本当に多くの方々にお世話になりました。心より、お礼申し上げます。ありがとうございました。

兄が茶室で、お茶をたてる所作に、凜としたものを感じることがありました。兄を思う時、思い浮かぶのは「裏表のない正直な人間」というワンフレーズ。嘘をついたり言い訳することはありませんでした。兄のそうした気質は、母親ゆすり。兄や母との関係で、ストレスを感じたことがないのは、そのためだと思います。

一度だけ兄に連れられて、京都、上七軒の長谷川という町家に行ったことが和風近代建築としてとても興味を惹かれました。兄は母の影響で、茶の世界へと入っていきました。僕は、茶碗に興味を持つようになり、学生時代には母と陶芸教室へ行ったり、瀬戸の若手作家の窯を訪ねたりしていました。関心は、和紙、漆、竹細工、染織、藍染、和ろうそく、墨など伝統工芸全般へと広がっていきました。

兄は茶を始めとする雅の伝統文化の心を、僕はそれを支える里山の伝統工芸の手仕事を母から受け継ぎました。ライターの仕事をしてながら、五年前に築120年の古民家に移り住み、親子対象の里山体験を年間120回ほど実施しています。日本の伝統文化が廃れれば、伝統工芸も廃れていくことになります。兄が長く生きていれば、伝統文化と伝統工芸をつなぐ企画を一緒に作り上げることもできたと思います。兄も母も僕の良き理解者で、自分のやりたいことを応援してくれていました。自分につながる母、父、祖父、祖母、そして兄弟は誰一人いないのがとても寂しく感じます。

母の眠る墓に入れて欲しいとの願いがあり、4月8日、兄は無事、生まれ故郷である四国の新居浜へと帰りました。兄は本籍を一生、変えることなく、ずっと新居浜のままでした。故郷と日本を愛した兄の思いを里山体験や仕事を通じて、形にしていきたいと思っています。

昭和40年代

昭和30年代



岐阜工業高等専門学校

50年の歩み

創設期

37年 11月 社団法人岐阜工業高等専門学校
設立協力会の設立認可38年 1月 岐阜工業高等専門学校を
岐阜県本巣郡真正町に設置決定1月 岐阜県各務原市鵜沼中学校
(現・鵜沼第一小学校) に仮校舎内定

4月 本校設置、

■機械工学科

■電気工学科

■土木工学科の

3学科で発足

4月 初代校長に前岐阜大学工学部長
理学博士、飯沼弘司 任命

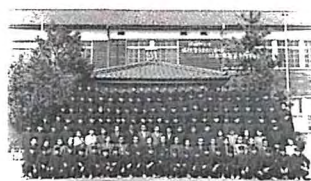
S.38 仮校舎



S.38 本巣当時の状況



1号館



S.39 仮校舎別れの日



図書館



S.38 仮校舎



S.38 仮校舎にて使用看板

整備期

39年 3月 第1期工事

(1号館、寄宿舎A寮等)竣工

3月 仮校舎から本校舎へ移転

6月 図書館 開館

9月 寄宿舎を「雄志寮」と命名

40年 3月 第2期工事(2号館、実習工場、寄宿舎D寮)竣工



S.39 国体聖火副ランナー



機械科工学科製図室

【住】 風呂のある家庭が全国で67・8%に
名古屋市内に15階建ての公団随一の住宅完成
【流行語】 マイホーム モーレッツ社員
【ヒット曲】 愛して愛して愛しちゃったのよ

S.40・7 名神高速道路全面開通
S.40・9 第20回岐阜国体夏季大会開会
S.40・10 第20回岐阜国体秋季大会開会
S.41・2 岐阜市役所 今沢町に移転
S.41・2 岐阜県庁 岐阜市藪田に移転
S.42・12 テレビ受信契約2千万・普及率83%

【衣】 アイビー・ルック
【流行語】 おれについて来い カギツ
コンパニオン ウルトラC
【値】 牛肉100g 60円 コーヒー60円 ラーメン50円
公務員初任給1万4千円
【流行語】 公害 流通革命 お呼びでない
【ヒット曲】 こんには赤ちゃん 高校3年生
東京五輪音頭 アンコ椿は恋の花

S.38・4 NHK大河ドラマ第一作「花の生涯」
放送開始
S.38・8 本田技研工業が軽トラックT360発売
S.39・3 初の電卓開発 1台50万円
S.39・6 ビール・酒類 自由価格に
S.39・10 東京五輪大会開催

成長期

41年 サッカー部東海地区高専大会 優勝

3月 第3期工事(3号館、第1体育館、寄宿舎C寮等)竣工

4月 事務部に庶務課および会計課 設置

12月 武道館 竣工

42年 5月 プール 竣工

43年 1月 合宿所「凌雲荘」竣工

3月 第一回卒業式

4月 ■建築学科 増設

同窓会結成「若鮎会」

応援団 創部 応援歌「栄冠」

44年 3月 第4期工事(建築学科棟、寄宿舎B寮等) 竣工

46年 4月 事務部に学生課 設置

47年 3月 図書館センター 竣工

11月 創立10周年記念式典挙行

48年 2月 電子計算機室 増設

49年 4月 安藤記念館採納式挙行

成長期

50年 8月 全国高専硬式野球部大会 初優勝

53年 4月 第2代校長に前名古屋大学工学部長 工学博士・古屋善正 任命

8月 第13回全国高等専門学校体育大会を主管、開催

バスケット・バレー・ハンドボール部 優勝

54年 3月 学校施設開放管理センター「第2凌雲荘」、排水処理施設 竣工

55年 「一日入学」制度開始(岐阜市内中学生)

3月 第2体育館 竣工

56年 4月 NHK・30分の番組放映

「復元からくり人形製作」岐阜高専38人の学生たち



武道館 竣工



吹奏楽部



応援団



安藤記念館



S.50 全国高専硬式野球部大会初優勝



土木工学科材料実験



電気工学科基礎実験



岐阜市内中学生「一日入学」

S.43・7 ポケットベル営業開始
S.43・10 川端康成ノーベル文学賞受賞
S.43・12 東京府中で3億円強奪事件発生
S.44・4 名岐バイパス全線開通
S.44・5 東名高速道路全面開通
S.44・7 米アポロ11号月面に人類初の第一歩

〔衣〕ヒッピー・ファッション シースルー人気
〔流行語〕昭和元禄 ハブニング 欠陥車
〔ヒット曲〕ブルーライトヨコハマ 恋の季節
黒猫のタンゴ
〔値〕牛乳20円 ラーメン100円
公務員初任給2万5千円

S.45・10 国勢調査日本の人口1億人突破
S.46・2 アポロ14号月からカラーテレビ中継
S.47・2 あさま山荘大量殺人事件
S.47・9 日中国交正常化調印
S.48・2 円の変動相場制実施
S.48・10 第4次中東戦争勃発オイルショックへ
〔衣〕ジーンズ大流行 ビッグ・スカートを登場
〔食〕カップヌードル
〔流行語〕総括 省エネ オイルショック 金脈人脈
〔ヒット曲〕また逢う日まで 瀬戸の花嫁
〔値〕公務員初任給4万6千円

S.50・3 新幹線岡山〜博多間開通
S.50・4 ベトナム戦争終結
S.51・9 台風17号の接近に伴う集中豪雨で長良川が決壊 死者行方不明165名
S.53・5 新東京国際空港開港式(成田)
S.54・1 第2次オイルショック

〔衣〕ミニからロングへ転換
ビッグからスリムに方向転換
〔流行語〕サラ金 省エネ ダサイ ナウイ
〔ヒット曲〕おぼたたいやきくん 津軽海峡冬景色
ヤングマン 関白宣言

S.55・7 モスクワ五輪大会 日本不参加
S.55・9 イラン・イラク全面戦争に突入
S.56・3 公務員週休2日制スタート
S.57・4 5百円硬貨発行

変革期

- 7月 4号館 竣工
- 58年 8月 公開講座を初開講「マイクロコンピュータ入門講座」
- 11月 創立20周年記念式典挙行
- 59年 4月 第3代校長に前岐阜大学工学部長 理学博士・脇田仁 任命
- 60年 3月 福利施設「伊吹」竣工
- 61年 3月 高等学校卒業生の編入制度発足
- 63年 3月 女子シャワー室 新営
- 3月 実習工場へ マシニングセンター導入
- 63年 4月 ■電子制御工学科 増設
- 10月 電子計算室にCADシステム導入
- 元年 4月 校舎内にくつ上下兼用
- 2年 3月 風洞実験室 新営
- 3月 電子制御工学科棟 竣工
- 8月 ロボット研究会 高専ロボット初出場
- 11月 プログラミングコンテスト初参加
- 3年 4月 第4代校長に前豊橋技術科学大学教授 工学博士・沖津昭慶 任命
- 4月 外国人留学生受入れ開始
- 4年 3月 男子寮（D寮）を女子寮に改修
- 4月 学校週5日制実施
- 10月 海外学術交流協定の調印
- 5年 4月 土木工学科を■環境都市工学科に改組
- 10月 創立30周年記念式典挙行
- 6年 6月 寄宿舎D寮 竣工
- 9月 グランド改修



創立30周年記念 記念植樹



岐阜高専ロボット研究会



創立20周年記念 けやき植樹



マシニングセンター

- S 59・5 NHK衛生テレビ放送開始
- S 59・6 日本世界一長寿国へ
- S 59・11 新札発行（1万円・5千円・千円札）
- 【衣】ブレッビー流行 フェイク・ファー流行
- 【食】減塩のマヨネーズ・醤油など注目される
- 【流行語】竹の子族 ネアカ・ネクラ ワープロ
- 【ヒット曲】奥飛騨暴情ルビーの指輪 さんかの宿 長良川艶歌 涙のリクエスト
- S 60・4 NTT日本たばこ産業民営化スタート
- S 60・8 日航ジャンボ機が御巣鷹山に墜落
- S 61・4 チェルノブイリ原子力発電所爆発
- S 62・10 ニューヨーク株式市場大暴落
- ブラックマンデー
- 【衣】DCブランド ボタコンシヤス流行
- 【流行語】新人類 やらせ 財テク マルサ
- 【ヒット曲】ジュリアに傷心 ダンシングヒーロー 仮面舞踏会 命くれない SHOW ME
- S 63・3 青函トンネル開通
- S 63・3 日本初の屋根付球場 東京ドーム誕生
- S 63・6 岐阜市内電車長良橋線廃止
- 【衣】シフカジ族が若者の流行をリード
- 【流行語】ドーピング ドライ戦争（ビル）
- 【ヒット曲】乾杯 パラダイス銀河 乱れ花
- H 11・1 昭和天皇崩御87歳 新元号平成施行
- H 11・4 消費税実施
- H 2・8 イラクがクウェートへ侵攻
- H 3・11 ハイビジョン試験放送開始
- H 4・7 山形新幹線開業
- H 4・9 スペースシャトルに毛利衛氏搭乗
- 【衣】紮ブレ大流行 ミニスカート復活
- 【食】グミ・キャンディーが人気 ベビーフード
- 【流行語】アッシーくん バブル経済 ほめ殺し
- 【ヒット曲】淋しい熱帯魚 おどるポンポコリン
- H 5・3 福岡ドーム完成
- H 6・7 向井千秋さんスペースシャトルに搭乗
- H 7・1 阪神大震災
- H 8・3 「かみかみはら航空宇宙科学博物館」オープン

7年4月 ■専攻科 (①電子システム工学専攻 ②建設工学専攻) 設置

8年3月 寄宿舎 (B・C寮、女子寮) 改修

9年3月 専攻科棟 竣工

10年4月 第5代校長に前豊橋技術科学大学教授 工学博士・小崎正光 任命

11月 エコラン部 Econo Power in GIFU 出場

11年8月 寄宿舎 (管理棟、食堂、浴室) 改修

8月 太陽光発電設備設置

発展期

12年4月 電気工学科を■電気情報工学科に改組

10月 3号棟一部改修 (教室の狭隘解消工事)

12月 マルチメディア教育棟 竣工

13年3月 電気情報工学科棟改修、増築

3月 1号館一部改修、増設、2号館、教室棟5号館一部改修

(教室の狭隘解消工事)

8月 寮管理棟、第2女子寮、男子浴室、学寮食堂改修

15年1月 校名看板設置 (D寮屋上)

4月 創立40周年記念式典挙行

転換期

16年4月 独立行政法人 国立高等専門学校機構 岐阜工業高等専門学校となる

5月 環境システムデザイン工学がJABEE技術者教育プログラムとして認定

18年4月 第6代校長に前豊橋技術科学大学教授 工学博士・榊原建樹任命

19年3月 平成18年度大学評価・学位授与機構による機関別認証評価認定

21年4月 環境システムデザイン工学がJABEE技術者教育プログラムとして継続認定

22年3月 地域技術開発・教育センター改修

23年2月 情報科学芸術大学院大学 (IAMAS) と学術交流協定の調印

4月 第7代校長に前豊橋技術科学大学教授・環境生命工学系長



岐阜高専エコラン部



2000年 高専祭



H 9・4 消費税が3%↓5%に引き上げ

【衣】ルーズソックス だらしない系

【流行語】規制緩和 失楽園 たまごっち

【ヒット曲】無言坂 YAHYAHYAH
インセントワールド DEPARTURES

H 10・2 長野冬季五輪大会開幕

H 10・4 「明石海峡大橋」(3911m) 開通

H 11・9 台湾中部でM7.7の大地震発生

H 11・9 柳ヶ瀬の岐阜近鉄百貨店が約70年の歴史を閉じる

H 12・9 シドニー五輪女子マラソンで高橋尚子選手が金メダル

H 13・3 ユニバーサル・スタジオ・ジャパン開業

H 13・9 アメリカ同時多発テロ発生

H 14・5 サッカーW杯 日韓で共同開催

H 15・3 イラク戦争

【衣】キャミソール ヤマンバ ミニスカート

【流行語】だっちゃん 2000年問題 W杯

【ヒット曲】夜空ノムコウ だんご3兄弟
Automatic Loveマシーン
波乗りジョニー 世界に一つだけの花

H 16・11 新札登場。五千円札が樋口一葉、千円札が野口英世に

H 17・2 中部国際空港が常滑市沖合に開港

H 17・3 「愛・地球博」が開幕(59)

H 19・7 新潟中越沖地震発生 震度6

H 19・10 郵政民営化がスタート

【衣】セレブファッション アキバ系 巻き髪

【流行語】チョー気持ちいい 気合だー 冬ソナ

【ヒット曲】小泉劇場 想定内 外 イナバウアー
格差社会 そんなの関係ねえ
瞳をとじて Juppitar 桜
Butterfly 粉雪
ただ逢いたくて 千の風になって

H 20・5 国内最大級の「徳山ダム」が完成

H 21・7 若田光一氏が日本人として初めて宇宙長期滞在を終え帰還

H 23・3 東日本大震災発生

H 23・3 九州新幹線 博多 八代間開業

H 23・7 地上デジタル放送に完全移行

国際交流活動



ベトナム
ハノイ建設大学



中国
江蘇城郷建設職業学校



海外インターンシップ

海外の大学と学流協定を調印



平成29年9月9日
岐阜工業高等専門学校同窓会

若帖会 寄贈

五学科+専攻科時代 H.12～H.29

2000-現在

工学博士・北田敏廣 任命

7月 豊橋技術科学大学・東海地区5高専門で学術交流協定の調印

(岐阜、沼津、豊田、鈴鹿、鳥羽商船)

25年 4月 LEGO同好会 創部

9月 機械工学科棟改修

11月 創立50周年記念式典挙行

26年 3月 平成25年度大学評価

学位授与機構による機関別認証評価認定

27年 4月 環境システムデザイン工学が

JABEE技術者教育プログラムとして継続認定

28年 1月 1号館エレベーター 新設

2月 環境都市工学科棟改修

3月 第1体育館等改修

4月 専攻科(電子システム工学専攻、建設工学専攻)を

■専攻科(先端融合開発専攻)に改組

4月 第8代校長に前名古屋大学工学研究科 社会基盤工学専攻教授

工学博士・伊藤義人 任命

29年 2月 5号館エレベーター 新設



岐阜高専 LEGO 同好会



創立50周年記念 記念碑

H.24・9 ギふ清流国体・ギふ清流大会 開催

【衣】H&M日本上陸 マキシワンピ

【流行語】アラフォー、ゲリラ豪雨、事業仕分け

草食男子・肉食女子、ゲゲゲの

ワイルドだるま、IPS細胞、絆

【ヒット曲】羞恥心 Believe ひまわり

ヘビローテーション

H.25・8 高知県四万十市で国内観測史上最高

となる41℃を記録

H.25・9 2020年夏季五輪東京開催が決定

H.25・10 伊勢神宮式年遷宮

H.26・1 特定秘密保護法が成立

H.27・8 第二次世界大戦終戦70周年

H.28・6 公職選挙法改正により18歳から

選挙投票が可能になる

【衣】チェック柄 大きめストライプ

トレンドカラーはビュアホワイト

【住】大容量太陽光発電システム 防犯+PM2.5対策

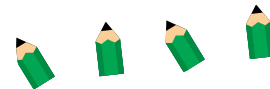
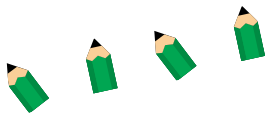
【流行語】じえいじえ 倍返し 今でしょ!

お・も・て・な・し 神つてる

【ヒット曲】恋するフォーチュンクッキー

EXILE PRIDE こんな世界を愛するため

PERFECT HUMAN



編集後記

早いもので創刊より2年が過ぎ、第9号を発行します。誰がこの機関誌を作っているのか。今回は名前だけでなく顔写真で編集員を紹介いたします。1号から9号までこの5人で頑張ってきました。多くの人に読んでいただけると嬉しく思います。メール受信できない方には印刷して郵送も考えています。ご意見をお待ちしています。

編集委員

6M 太田哲也



年長者として自然に編集長のような纏め役をしています。卒業後就職もせずフリーターから保険業界に入り、岐阜市内で事務所を構えています。毎日を楽しく暮らすため、好きなことが出来る環境を作っています。今一番興味があるのがゴルフです。この歳になっても向上心は旺盛です。旅行も楽しみの一つです。観光よりも美味しいものを食べる事を優先しています。東南アジアが特に好きですね。そのうちに旅行記と食レポを掲載したいと思います。

8M 犬飼宏好



卒業後製薬企業に就職し、主に医薬品製造、生産管理システムの開発と維持管理、品質保証業務に携わりました。品質保証業務では、岐阜県やPMDA（医薬品医療機器総合機構）などへの医薬品の製造業申請や査察対応で、文章の作成や修正、回答などに携わったことより、編集委員内では原稿の添削などを担当しています。現在はメルマガ編集委員と会社OB会役員の掛け持ち状態で、家内からは「のんびりするはずの定年後なのに、自分で忙しくしている。いつまで？」と釘を刺されています。

15M 中尾賢治



岐阜高専卒業後、豊橋技科大のエネルギー工学専攻を修了し、電機メーカーに就職しました。MDやDVDなどの光ディスク関係の研究開発を26年やったところで会社が傾いたので辞める事になり、町工場へ転職して現在に至ります。

電機メーカーに在職中、高専の先輩と後輩にだまされ（？）同窓会長を引き受けたのが同窓会との関わりの発端です。機巢の編集委員もバイク事故で入院している時、知らない間に決まっていました。

すでに定年の足音が聞こえる年齢になりましたが、何をやるにも何か面白いことはないか、いつも探しながらやっています。

24M 山田 実



24期で卒業し、豊橋技術科学大学に入学しました。技科大では知識情報工学課程で主に情報や制御を学びました。博士の学位を取得後、橋浦先生の後任ということで運良く岐阜高専の教員になることができました。これまで、情報処理、材料学、システム工学、数値計算法、ロボット工学、制御工学、機構学などの授業を担当してきました。クラブでは剣道部、ロボット研究会、レゴ同好会の顧問をしています。これからもこのメルマガを通して機械工学科の情報を発信していきたいと思っています。

33M 伊藤友裕



日々の様々な重圧に潰されそうでしたが、がむしゃらにやっていると何かしら前に進むものですね。航空機業界での人材不足を肌で感じている今日この頃。

ITやAIの活用による効率化は興味深いところであるが、その活用方法を決めるのは結局人間。いつの時代も、その時代に合わせた人材の育成は重要だと思う。仕事に家庭にと忙しい日々。時間が無く、やりたいことが思い通りに出来ず悩ましいのは歳のせいなのか、単に欲張りなだけなのか。

毎朝AIに仕事を指示し、後はのんびり好きに過ごすだけ。という時代は来るのかどうかに興味深い。

発行日／2018年5月24日

責任者／中野廣幸

発行／岐阜工業高等専門学校機械工学科同窓会「機巢会」編集室
〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236番地2

TEL 058-320-1343 FAX 058-320-1349

<http://www.gifu-nct.ac.jp/mecha/main/ob/ob.html>